平成28年度

輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

日本交通産業株式会社

項目	内容	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施
・旅客輸送の社会的使命 ・交通事故を発生させた場合の社会的影響 ・事業用自動車の運転者としての心構え	・社会的影響があった事件・事故等を取り上げ、教育し認識させる。 ・「事業用自動車安全通信」(国交省からのメールマガジン)の活用	26	26	24	24	21	21	26	26	16	16	27	8	25	25	15	15	20	20	24	24	21	21	21	21
		27	27	25	25	22	22	27	27	17	17	28	27	26	26	16	16	21	21	25	25	22	22	22	22
		28	28	26	27	23	23	28	28	18	18	29	28	27	27	17	17	27	27	26	26	23	23	23	23
・道路運送法 ・交通ルール (無免許運転、無資格運転、ひき逃げ行為等の禁止)	・法令集、交通の教則等からの抜粋や、法・交通ルールを遵守しなかった場合の事故事例等を用いて教育する。 (点呼時等に一般的指導及び定期的に実施)	26	26	24	24	21	21	26	26	16	16	27	8	25	25	15	15	20	20	24	24	21	21	21	21
		27	27	25	25	22	22	27	27	17	17	28	27	26	26	16	16	21	21	25	25	22	22	22	22
		28	28	26	27	23	23	28	28	18	18	29	28	27	27	17	17	27	27	26	26	23	23	23	23
・運転上生じ得る様々な危険についての理解	・事業用自動車の運転に係る様々な危険要因について事故事例の研究、危険予知トレーニング、ヒヤリハット体験等を用いて指導教育する。	26	26	24	24	21	21	26	26	16	16	27	8	25	25	15	15	20	20	24	24	21	21	21	21
		27	27	25	25	22	22	27	27	17	17	28	27	26	26	16	16	21	21	25	25	22	22	22	22
		28	28	26	27	23	23	28	28	18	18	29	28	27	27	17	17	27	27	26	26	23	23	23	23
・生理的要因、心理的要因による交通事故の理解 ・飲酒運転禁止の徹底 ・薬物使用運転禁止の徹底 ・居眠り運転禁止の徹底	・これらに起因する事故事例研究資料等を活用し、悪質違反の及ぼす社会的影響を理解させ教育する。 (点呼時等に一般的指導及び定期的に実施)	26	26	24	24	21	21	26	26	16	16	27	8	25	25	15	15	20	20	24	24	21	21	21	21
		27	27	25	25	22	22	27	27	17	17	28	27	26	26	16	16	21	21	25	25	22	22	22	22
		28	28	26	27	23	23	28	28	18	18	29	28	27	27	17	17	27	27	26	26	23	23	23	23
・自動車の構造上の特性	・車高、視野、死角、内輪差、制動距離等について、事業用自動車の構造上の特性を解説したもの、又、車輌特性の認識不足に起因する事故事例等を用いて指導教育する。 (新人乗務員については、乗務開始前に実施)	26	26					26	26					25	25					24	24				
		27	27					27	27					26	26					25	25				
		28	28					28	28					27	27					26	26				
・加速装置、制動装置及びかじ取り装置の急操作の危険性 ・乗客の着座及びシートベルトの重要性	・自動車事故対策機構の基礎講習資料等、又、急操作及びシートベルトの不備に起因する事故事例等を用いて指導教育し、乗客の安全を確保する。	26	26					26	26					25	25					24	24				
		27	27					27	27					26	26					25	25				
		28	28					28	28					27	27					26	26				
・乗降時の安全確保	・事故事例の研究、危険予知トレーニング、ヒヤリハット体験等を用いて、様々な状況を想定し、扉の開閉及び停車、発車における注意点を指導教育する。			24	24					16	16					15	15					21	21		
				25	25					17	17					16	16					22	22		
				26	27					18	18					17	17					23	23		
・主な交通状況 ・交通状況	・事故事例の研究、危険予知トレーニング、ヒヤリハット体験等を用いて、様々な状況を想定し指導教育する。					21	21					27	8					20	20					21	21
						22	22					28	27					21	21					22	22
						23	23					29	28					27	27					23	23
・健康管理の重要性	・健康に起因する事故事例の研究や健康診断結果に基き指導教育する。			24	24							27	8			15	15							21	21
				25	25							28	27			16	16							22	22
				26	27							29	28			17	17							23	23
・車内における防犯対策	・緊急時を想定し、会社との連絡方法(符丁)及び緊急装置の操作方法、不審者の見分け方と対応を指導。					21	21											20	20						
						22	22											21	21						
						23	23											27	27						
・非常用信号用具の取扱い	・発煙筒の使用方法及び使用が必要な状況を指導。 ・三角表示板の使用方法及び高速道路での設置義務について指導。									16	16											21	21		
										17	17											22	22		
										18	18											23	23		
・ﾊﾞｽｼﾞｬｯｸ、ﾃﾛ、事故及び車両火災発生等緊急時の対応	・各マニュアルを参考にし緊急時の対応方法を身につける。					9	9											7	7					14	14
・適性診断結果の活用	・受診結果から、自動車事故対策機構の資料等に基づき指導する。	受診後、1箇月以内に実施																							
・日本交通産業年間安全教育	・点呼時、当日の天候や混雑状況に応じて安全に関する注意点を繰り返し周知することで安全意識を向上させる。 ・雨天時ヘッドライト点灯の徹底 ・バック時ハザードランプ点灯の徹底 ・事故惹起者研修会による再発防止	春の交通安全運動		集合研修会①(事故)		事故惹起者研修会①		夏の交通安全運動		事故惹起者研修会②		秋の交通安全運動		集合研修会②(事故)		事故惹起者研修会③		山口県乗用自動車事故月間(無)		年末年始無事故月間		集合研修会③(事故)		事故惹起者研修会④	
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	